

第2章 小矢部市におけるDXの推進体制の構築

1 推進体制の整備

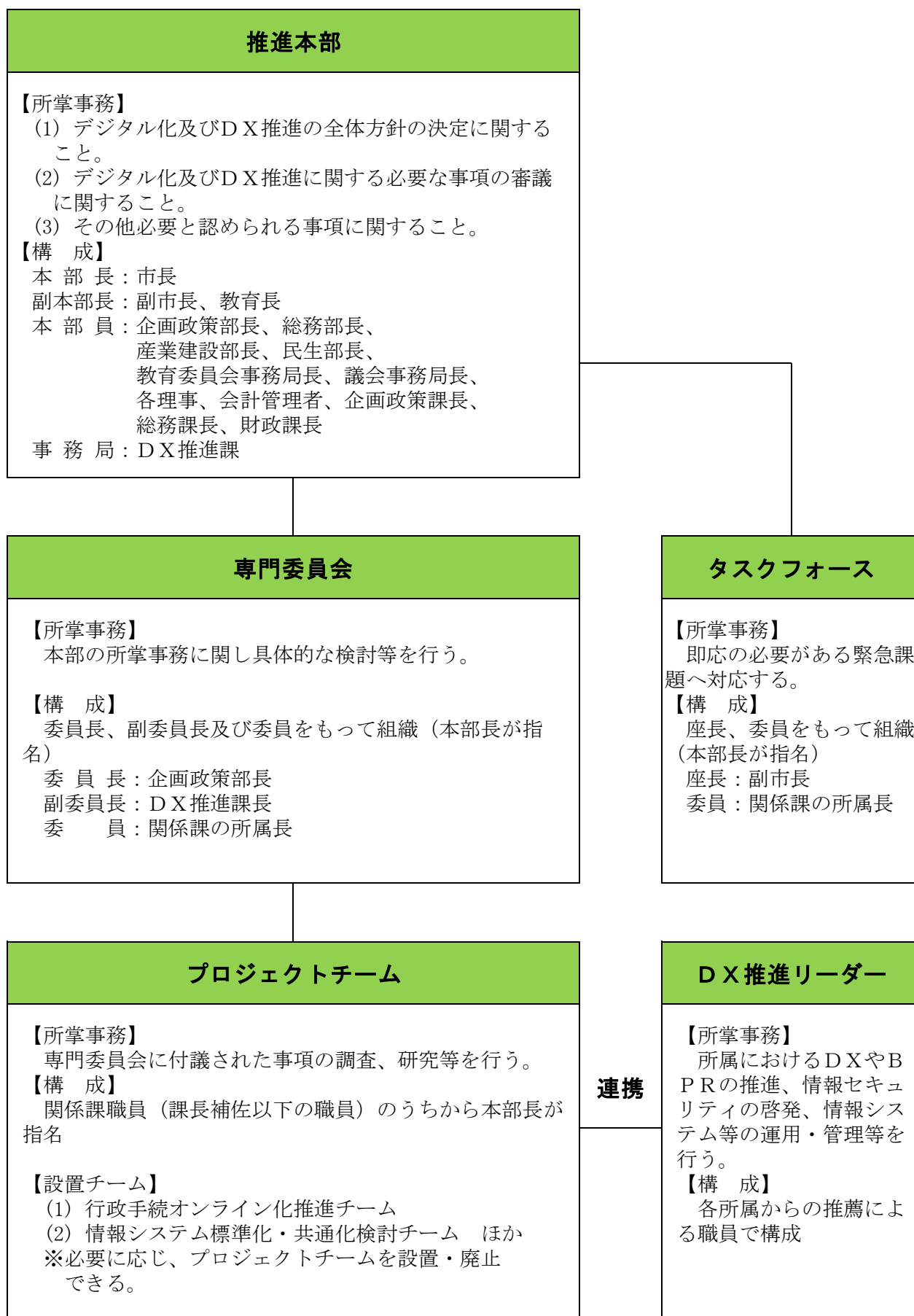
本市デジタル化及びDXの推進にあたっては、市長を本部長とする「小矢部市DX推進本部」が中心となり、デジタル化及びDXに係る全体方針の決定、必要事項の審議等を行います。また、各所属長で構成する「小矢部市DX推進本部専門委員会」を設置し、個別施策等の具体的な検討を行うとともに、各担当で「小矢部市DX推進本部プロジェクトチーム」を構成し、推進本部より専門委員会に付議された事項の調査、研究等を行い、全庁的な体制で取り組みます。

また、平成10年度から、各課においてホームページに掲載する情報の作成等を行っていた「情報推進員」については、平成16年に情報セキュリティや行政手続のオンライン化（電子申請）等電子技術への全庁的な対応を図るため、「情報推進リーダー」として各課に配置し、情報技術の核となる職員としての役割を担っています。情報推進リーダーは、本市のデジタル化及びDXをより一層推進するため、令和8年4月から、「DX推進リーダー」と改称し、各課における庁内DXの推進や所管事業に係るデジタル技術も活用した業務プロセスの見直し（BPR）の推進等の役割も期待しているところです。

なお、庁内DX推進の司令塔的役割を持つ課として、令和4年4月より「デジタル推進課」を設置し、全庁一体的に整合性をもってデジタル化を推進するよう、推進体制の強化を図っており、令和8年4月には「DX推進課」と改称し、更なるDX推進に取り組めます。

今後、新庁舎供用開始に向けて、必要に応じて関係各課とも十分な連携を図りながら取組を推進していきます。

2 小矢部市デジタル化及びD X 推進に係る組織図



3 デジタル人材の育成・確保

本市D Xを進めていくうえで、業務や事業に精通した人材がデジタル技術を活用し、業務改革を行っていくためには、デジタル人材の育成及び確保が重要となります。

職員一人一人がデジタル技術を活用し、D X推進に参画できるように、デジタル人材として育成していくことが必須であり、令和5年9月に策定した「小矢部市デジタル人材育成方針」に基づき、人材育成・スキルアップに努めていきます。

また、D X推進にあたり、対象となる業務や事業のデジタル化について、助言や指導を行える外部の専門人材を積極的に活用するとともに、専門的知識を有する職員の確保、D X推進リーダーの育成を図ります。

4 財政負担の考え方

- (1) 既存のシステムや機器の更新時期を捉え、重複投資の無いよう計画的に事業を進めます。
- (2) 国の方針やロードマップに沿って進める事業（計画期限や地方財政措置があるもの）と、それ以外の事業とに分けて検討するとともに、投資効果の最適化を目指します。また、できる限り国等の実証実験制度を有効に活用するなど、費用負担の軽減を図ります。
- (3) デジタル化及びD Xを推進する組織における横断的な協議及び毎年度の予算編成作業を通じて、戦略的な投資を推進します。